

令和6年度社会福祉法人気仙沼市社会福祉協議会事業計画

【基本方針】

少子高齢化や核家族化、人口減少が進み、支え合いの必要性、重要性が増していく中、地域では社会的なつながりが希薄化し、支え合いの基盤が弱まりつつあります。

新型コロナウイルスが5類へと移行となり、外出制限が解除されたことで、停滞していた地域活動が再開されつつあります。数年にわたる外出制限によって、生活様式にも変化が生まれ、通信機器や技術の進歩によって、人との繋がりも多様化しています。一方で、失業等による世帯収入の減収、資源価格や消費物価の高騰などから、生活困窮世帯を取り巻く環境はより厳しいものとなっています。また、社会の変化により、他者との関りが希薄化する中で、孤独を覚え、社会から孤立している方への問題が深刻化していることを踏まえ、国では孤独・孤立対策推進法を成立させ、施行することとしています。

こうした状況を踏まえ、本会では令和6年度から第4期気仙沼市社会福祉協議会地域福祉活動計画を策定し、「地域でみんながふれあい支え合って自分らしく安心して暮らせるまちづくり」を基本理念とし、誰もが住み慣れた地域で暮らしていけるよう、気仙沼市、地域住民、地区社協等の福祉組織・関係者との協働、連携、調整を通じて、多様かつ複雑化している地域生活課題の解決に繋がる体制づくりを進め、地域福祉を推進する中核的な団体としての責務を果たしてまいります。

【重点目標】

1 法人の組織体制と基盤の強化

社会福祉協議会が、誰もが住み慣れた地域で生活できるまちづくりを目指すためにも、法人の運営を長期にわたり継続させることが求められます。地域社会を取り巻く環境を十分に認識し、ガバナンス（経営規律）の強化と法令遵守の徹底、職員人材育成の強化に取り組むとともに、厳しい経営状況が続いていることを踏まえ、組織体制の再編、事業の効果測定とコストの適正化など、財政の安定化に向け経営基盤の強化を図り、将来を見据え持続可能な組織を確立していくため、経営状況を適切に判断して責任と透明性のある運営に努め、社会的使命を果たしてまいります。

2 地域福祉活動の推進に向けた取り組み

（1）担い手の育成と活動支援

第4期気仙沼市社会福祉協議会地域福祉活動計画（令和6年度から令和10年度）を基本とし、地域福祉の推進に向けて各種事業に取り組みます。

人口減少により、地区社協をはじめとする地域活動団体は、後継者不足や構成員の高齢化に直面しており、人材の育成と確保が重要となります。地域福祉を担う人材を育成するにあたっては、幼少期から福祉を身近に感じもらうために、福祉教育を推進し地道な人材育成が必要です。

また、住民主体の活動を進めるにあたり、市民ボランティアの育成とその活動の充実が図られるよう、ボランティアセンターの機能の充実強化に努めます。

(2) 地区社協活動への支援

本市における地域福祉推進に当たって、地区社協との連携が必要不可欠であることから、活動助成金の交付、活動等に関する相談、地区懇談会への協力など、主体性を重視しながら、運営及び事業の発展に対して側面的な支援を行います。

3 介護保険事業・障害者福祉サービス事業の質の向上と運営

質の良いサービスを提供するに当たり、職員体制を整備する必要があります。将来的に介護人材が不足することが予見されていることから、処遇改善や求人活動を通じて、人材の確保に努めます。

職員の処遇を確保するために、利用者の確保が重要となります。新型コロナウイルス5類移行後も、感染による利用控えがあり、また施設への入所等による利用者の減少から、収入の予測が困難な状況にありますが、引き続き感染対策を講じながら、魅力ある施設運営に努め、安定したサービスを提供しながら、利用者の確保に努めます。

施設の維持管理については、コストの適正化に努め、収支バランスの取れた運営に努めます。

4 組織改革と経営基盤の強化

地域社会に責任をもって貢献していくために、組織の理念や目標、体制などを今一度再確認し、持続可能で責任ある自律した組織運営に努めます。そのために、社会福祉法人に求められているコンプライアンスの徹底を図るとともに、組織体制の抜本的な改善と介護保険事業等の効果的で効率的な自立経営に努め、財政基盤の強化を図ります。

(1) 持続可能で責任ある組織経営

地域に開かれた組織としての透明性の確保を図り、あらゆる関係者との参加と協働を徹底し、理事会や評議員会、監査会等により責任ある組織的な判断に基づく経営を行うとともに、環境の変化に対応し、計画的に事業を展開していきます。さらに、すべての役職員は高い倫理意識を保持し、日常のあらゆる活動において法令遵守を徹底し、地域の信頼を得られるよう組織運営に取り組みます。

(2) 財政基盤の見直しと事務所機能の在り方

本会の財政状況は、長年にわたって厳しい状況が続いていることを踏まえ、組織全体での財政基盤を見直す必要があることから、組織体制の再編、適切な事業評価による事業の見直し、コストの適正化を図りながら、財政基盤の強化を図っていきます。

また、東日本大震災から13年が経過し、法人事務所は未だ仮設事務所にて業務を行っている状況から、地域福祉活動の拠点の本設に向けて、関係機関と連絡、調整を密にしながら、施設の在り方について検討します。

1. 法人運営事業

執行機関としての理事会、議決機関としての評議員会、業務執行及び財産状況を監査する監査会を実施し、それぞれの役割や責任を明確化し、本会の経営・運営の充実強化を図ります。

事業名	内 容
理事会及び評議員会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会 定例会を年3回開催し、法令や定款に基づき、業務執行上の重要事項を審議します。理事定数は、13名以上16名以内。 ・評議員会 定時評議員会及び定例会を年2回開催し、地域社会の総意をもって地域福祉を推進します。評議員定数は、28名以上33名以内。 当初予算額 405,000円
監査会の開催	理事の業務執行や事業の健全経営や透明性を図るため、定例として年2回監事による監査を行います。監事定数は、3名以内。 当初予算額 168,000円
苦情解決責任者及び第三者委員の設置	本会が提供する福祉サービスに対する苦情に適切に対応して、利用者の満足感を高め、利用者個々の権利を擁護するとともに、利用者の苦情を円滑かつ円満に解決します。また、研修会への参加等により、資質の向上を図ります。 当初予算額 15,000円
評議員選任・解任委員会の適時開催	評議員に欠員等が生じ、各地区や団体からの推薦書が提出された際に、速やかに評議員選任・解任委員会を開催し、体制の整備を図ります。
委員会の開催	社協運営に関する意見を有識者等から徴するため、企画経営委員会、地域福祉推進委員会を開催します。

2. 地域福祉事業

地域福祉活動計画に基づき、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指すとともに、地域福祉活動の充実に努めます。

事業名	内 容
地域福祉活動計画の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・気仙沼市社協地域福祉活動計画推進委員会を開催し、第4期活動計画で掲げた取組みの進捗状況の点検・評価・見直し等を行います。 ・気仙沼市社協地域福祉活動計画推進連絡会議を開催（年2回）し、各地区社協から推薦された連絡会議委員により、第4期活動計画で掲げた具体的取組みの実施状況の点検・評価、事業推進に向けた連絡・調整等を行います。 ・活動計画の推進に向けて、職員が地域に出向く際には積極的な計画内容の紹介と併せ、分かりやすい広報の検討と周知により、市民、地域等へ広く啓発し、計画の理解と地域福祉活動への参加促進を図ります。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 616,000円

<p>地区社協活動の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉の推進を図るため、地区社協会長会議を年4回開催し、情報共有と意見交換を行ないます。小地域福祉活動や生活支援体制整備事業等、地域での支え合い活動の充実に向け、中核となる地区社協の支援に取り組みます。 ・地区社協役員を含む地域福祉活動実践者等を対象とした研修会を開催し、地区社協活動等地域における福祉活動の推進に向けた取り組みを支援します。 <p>当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 489,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区社協が実施する地域・在宅福祉に関わる自主的な事業へ活動費を助成し、地域福祉活動の促進を図ります。 <p>当初予算額 法人運営事業の内 2,252,000円</p>
<p>小地域福祉活動の推進</p>	<p>誰もが地域の中で安心して生活ができるよう住民同士が協力し、見守り、助け合い、支え合う小地域福祉活動の推進に努めます。また、生活支援体制整備事業と支え合う地域づくりという目的が合致することから、連携、協働しながら推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の福祉課題や福祉活動の情報交換等により、地域課題の解決に向けた住民主体の支えあい活動につながるよう、地区社協主催による懇談会等の運営支援や話し合う場の機会提供に努めます。 ・市内全域のほか、地域が抱える課題解決に向けて、地域住民や関係者がそれぞれの役割を考え行動していくことを目的としたフォーラムを開催します。 ・支援を必要とする方を近隣等で見守り支え合う、小地域福祉ネットワーク活動を推進します。 ・ヘルプカードを広く周知し、日常や災害発生時に援助や支援が必要な方などの希望者に継続して配付します。また、必要な時に援助が受けられるよう市民の理解促進を図ります。 ・地域支え合い活動推進モデル地区社協事業として、地区社協圏域内の自治会やコミュニティ組織・団体等が取り組むモデル的な地域福祉活動等を指定し、住民が元気に活躍できる地域づくりと支え合いの活動の充実・強化を図ります。 ・コロナ禍により停滞していた地域活動の再開や新しい取組を地域が主体的に行えるよう地域支援事業に取り組みます。 ・小地域福祉活動補助金を交付し、活動の円滑な運営を図ります。 <p>当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 1,790,000円</p>
<p>地域包括ケアシステムの構築と推進</p>	<p>構成団体と連携・協力し、地域包括ケアシステム構築に積極的に取り組み、気仙沼市地域包括ケア推進協議会で策定したアクションプランの推進を図ります。</p>
<p>広報・啓発</p>	<p>社協だよりやホームページ、LINE等により、情報発信に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「気仙沼市社協だより」を年6回（5月、6月、8月、10月、12月、2月）発行し（全戸配布）、地域活動の紹介や福祉サービスの情報発信を行うことにより、住民の地域福祉活動の啓発と参加を促進します。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページによる情報発信 ホームページを活用し、地域の福祉活動や福祉サービス、事業の紹介、ボランティア情報等幅広い分野の情報発信を行います。 ・LINEによる情報発信 タイムリーな情報発信手段として、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)のLINEを活用して、研修・講座や活動内容等の周知と福祉活動等への参加機会の拡大に努めます。 ・オリジナルキャラクターによる啓発 社協オリジナルキャラクター「あかりちゃん」を様々な形で活用し、社協や地域福祉活動の啓発・推進に努めます。 <p>当初予算額 福祉育成援助活動事業の内 3,041,000円</p>
社会福祉大会・表彰関連	<p>各種表彰大会の被表彰者推薦や表彰決定者への通知などの連絡調整を行います。また、必要に応じて市社協会長表彰の受賞に関する手続き等を行います。</p> <p>当初予算額 社会福祉大会・表彰関連事業 187,000円</p>
本吉地域福祉まつり	<p>誰もが住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けることができるよう、住民相互の支え合いと助け合いによる福祉コミュニティの再構築と共生社会の実現に向けて、主体的に集い楽しみながら交流や学びなどができる本吉地域福祉まつり(全体会)を地域の関係者と実行委員会を立ち上げ計画・推進します。開催にあたっては、地域住民や福祉関係機関のみならず、広く協力を得ながら実施します。開催時期は、地域で役員の変更があることから、初秋の開催をめざし検討を重ねていきます。また、各振興会単位の地域福祉まつりは状況により先着順とし、振興会会長や福祉推進員等と連携し、地域の特性に配慮しながら住民の社会参加を促進支援します。</p> <p>全体会開催月：9月頃予定 本吉地域福祉まつり(振興会単位)；随時開催</p> <p>当初予算額 福祉育成援助事業の内 317,000円</p>
高齢者交流会	<p>高齢の一人暮らし及び高齢者のみの世帯を中心に、生活の質の向上と仲間づくりやつながりづくりの機会となる交流会等の事業を、民生委員・児童委員やボランティア等関係団体と連携しながら実施します。</p> <p>当初予算額 老人福祉事業の内 87,000円</p>
本吉地域ひまわり会交流事業	<p>慣れ親しんだ自分達の地域で、世代間交流の機会づくりを推進するため住民の実践活動を支援しながら実施していきます。また、コロナ以降停滞している本吉響高等学校と共同による、一人暮らし高齢者へ交流機会の提供と仲間づくりの新たな実施方法を検討して対応していきます。</p> <p>実施月：独自開催 7月、10月、3月 本吉響高等学校交流12月</p> <p>当初予算額 老人福祉事業の内 148,000円</p>
障害者福祉の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者福祉活動事業(交流事業) <p>障害者の社会参加を促進するとともに、地域の方々との交流を通して、相互</p>

	<p>理解を深め、障害のある人もない人も住み良い地域づくりの推進を目的に専門機関と連携し、障害者福祉活動に取り組みます。</p> <p>当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 73,000 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点訳・録音サービス事業 <p>視覚障がい者等への情報提供の一環として、ボランティアの協力を得ながら朗読テープの送付や点訳サービスを行うことにより、行政情報や地域福祉情報等の必要な情報提供に努めます。</p> <p>当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 21,000 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手話奉仕員フォローアップ研修 <p>聴覚障害者の福祉の増進及び 情報保障の充実を図るため、手話奉仕員を対象とした手話の復習及び技術向上のため学習の機会を設けます。</p> <p>当初予算額 ボラ活動育成事業の内 47,000 円</p>
ガイドヘルパー派遣事業	<p>視覚障がい者の社会生活を支援し、社会生活範囲の拡大と福祉の増進を図ることを目的に、ガイドヘルパーの派遣を行います。また、ガイドヘルパー養成講座を開催し、人材の育成に努めます。</p> <p>当初予算額 障害児者福祉活動事業 324,000 円</p>
善意銀行の運営	<p>市民からの多様な善意の預託を受け、地域生活支援及び住民参加による地域福祉の推進に資するよう効果的な活用を努めます。</p> <p>当初予算額 470,000 円</p>
屋内ゲートボール場の運営	<p>管理運営委託先である気仙沼市ゲートボール協会と連携し、適切な施設の維持管理に努めるとともに、市民の健康増進とスポーツ振興及び福祉向上を目指します。</p> <p>当初予算額 900,000 円</p>
気仙沼市市民福祉センター管理・運営	<p>気仙沼市市民福祉センター条例及び指定管理に係る基本協定書に基づき、社会福祉を目的とする市民相互交流及び高齢者並びに障害者の自立促進及び健康増進を図るため、本会及び福祉団体等が連携・協働して事業を推進し、センターの効果的な活用とともに、施設の適正かつ円滑な運営に努めます。</p> <p>当初予算額 17,258,000 円</p>
気仙沼市唐桑保健福祉センター・気仙沼市福祉の里野外活動施設管理・運営	<p>気仙沼市保健福祉センター条例及び気仙沼市福祉の里野外施設条例並びに指定管理に係る基本協定書に基づき、適正な施設の管理運営に努め、市民の健康増進や地域福祉の推進を図ります。</p> <p>また、地域福祉及び地域保健活動の拠点として、センター及び野外施設の効果的な利用とともに、利用者への安心安全にも配慮し、利用促進に努めます。</p> <p>当初予算額 15,884,000 円</p>

3. ボランティアセンターの運営

地域にとって新たな支え合いの担い手となるボランティア等への一層の支援や育成により、地域福祉活動の活性化を図ります。

事業名	内 容									
ボランティアセンターの充実とボランティア活動の推進	<p>福祉やボランティア活動への理解と関心を深め、参加を促進することにより、住民参加による福祉のまちづくりを目指すことを目的とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア講座の開催 ボランティア講座を開催し、ボランティア活動者のすそ野を広げ、住民参加の福祉のまちづくりを広めます。また、市内のボランティア同士の交流を通し、連携した福祉のまちづくりに取り組むきっかけづくりを行ないます。 ・ボランティアの相談、ニーズ受付、調整、紹介業務 随時の相談に応じ、人とのつながりの中で共に豊かに暮らすことのできる地域づくりに理解を深めることができるよう、様々な福祉体験やボランティア活動の機会を提供します。 ・ボランティア団体等への各種情報誌の提供 各種情報誌や助成事業等の情報提供により、ボランティア団体の活動状況の周知とボランティアが活動しやすい環境づくりに努めます。 ・災害ボランティア 大規模災害に備え、災害ボランティアセンター設置運営訓練等を開催し、機能強化に努めます。 ・ボランティアへの支援 ボランティアの活動中の事故・怪我に備え、ボランティア保険への加入促進に努めるとともに、保険料の一部を補助します。 <table data-bbox="496 1279 1252 1406"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>ボランティア活動育成事業</td> <td>2,024,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ふれあいのまちづくり事業の内</td> <td>330,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ボランティアセンター事業</td> <td>223,000円</td> </tr> </table>	当初予算額	ボランティア活動育成事業	2,024,000円		ふれあいのまちづくり事業の内	330,000円		ボランティアセンター事業	223,000円
当初予算額	ボランティア活動育成事業	2,024,000円								
	ふれあいのまちづくり事業の内	330,000円								
	ボランティアセンター事業	223,000円								

4. 福祉教育

市内小・中学校、高校を対象に、体験や交流活動を通じて福祉のこころを育むことを目的に福祉・ボランティア活動を推進し、児童生徒への福祉教育・学習機会を提供します。

事業名	内 容
福祉教育の推進	<p>地域と連携した福祉学習の開催、福祉学習プログラムの提供、ボランティア活動体験等の支援を積極的に行うことで思いやりの気持ちを育み、地域で学び合う中で福祉意識の醸成と支え合う地域社会づくりに取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉教育活動費補助金交付事業 学校教育における福祉活動の補助により、継続した福祉教育、ボランティア学習を支援します。 福祉教育関係者情報交換会 教育委員会等と調整を図りながら、担当教諭を対象とした情報交換会や研修会を開催するなど、福祉教育の一層の推進に努めます。 福祉教育、企業、団体への職員派遣事業 機会を捉えて市社協職員等を派遣し、地域活動に対する意識の啓発と地域における福祉人材の育成や福祉への理解者の拡大等を図ります。 行事参加協力調整事業（高校生ボランティア等の活動調整） 市内の福祉施設等からボランティアの派遣を依頼された際に、市内の高等学校及びボランティア団体の協力を得てボランティアを募り、ボランティア意識の啓発と福祉への理解と協力が深まるよう努めます。 敬老作文コンクール事業 市内の小学生を対象とした敬老作文コンクールを実施し、児童の高齢者に対する理解を深め、敬老の心を培います。 <p>当初予算額 ボランティア活動育成事業の内 414,000 円 福祉育成援助事業の内 70,000 円 児童青少年福祉活動事業の内 318,000 円</p>

5. 援護活動

支援が必要な世帯の生活の安定及び地域課題解決に向けた団体の活動が推進するよう支援します。

事業名	内 容
援護活動事業	<p>市内で発生した住宅火災及び浸水被害による被災世帯に対し、その生活の安定に資するよう迅速な見舞金等の贈呈に努めます。</p> <p>当初予算額 福祉育成援助活動の内 30,000 円</p>
歳末たすけあい募金配分事業	<p>気仙沼市共同募金委員会が実施する歳末たすけあい募金運動に寄せられた市民の善意を、住み慣れた地域で安心して暮らしていくための様々な支えあいの一助となるよう配分します。実施に当たっては、行政等と連携し、民生委員・児童委員及び地区社協等の関係団体の協力を得て、地域の課題に即した活動への支援等を行ないながら、募金の趣旨に沿えるような配分に努めます。</p> <p>当初予算額 7,400,000 円</p>
交通・海難等遺児に対する就学支援費の支給事業	<p>交通事故・海難事故・労働災害及び病死（不慮の事故を含む。）により、扶養していた父母の一方または両方が死亡した満 18 歳以下の高校在学までの方に民生委員を通じ、就学支援費を支給することにより、相談しやすい環境づくりに努めます。</p> <p>当初予算額 児童福祉活動推進事業の内 377,000 円</p>

6. 生活支援・障害福祉事業

(1) 生活支援事業

住み慣れた地域で安心して生活ができるよう地域住民のあらゆる地域生活課題を受け止め、地域での生活支援に向けた相談・支援活動や権利擁護支援等に取り組みます。

事業名	内 容
ふれあい相談センターの運営	<p>ふれあい相談センター（生活相談所）において市民の日常生活における困り事や心配事の相談を受けるほか、地域に出向いた移動相談会や専門相談会を開催し、気軽に相談できる場の提供を行います。</p> <p>また、相談所機能の強化を図るため、連絡会等を開催し運営方法の見直しも含めた検討を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気仙沼地域 気仙沼市社会福祉協議会本所にて、月曜日から金曜日（木曜日を除く）午前9時から午後3時まで開設します。 ・ 本吉地域 気仙沼市社会福祉協議会本吉支所にて、毎週月曜日午前9時30分から午前11時30分まで開設します。 <p>当初予算額 ふれあいのまちづくり事業内 1,935,000 円</p>
生活福祉資金貸付事業	<p>宮城県社会福祉協議会から「生活福祉資金貸付事業」を受託し、低所得世帯等の経済的自立と生活の安定が図られるよう、生活困窮者自立相談支援事業所や担当民生員等と連携を図りながら、貸付に関する相談と必要な相談支援を行います。</p> <p>事業活動収入当初予算額 9,064,000 円</p>
生活安定資金貸付事業	<p>低所得世帯に対し、緊急に必要な小口の生活資金を貸付けることで、生活の安定が図られるよう担当民生委員と連携し、世帯の自立支援に努めます。また、担当民生委員と情報の共有を図りながら、償還への働き掛けと併せ、生活課題の解決に向けた取り組みを行います。</p> <p>貸付金当初予算額 250,000 円</p>
まもり一ぶ気仙沼・南三陸（気仙沼・南三陸地域福祉サポートセンター）日常生活自立支援事業	<p>判断能力が十分でない方への定期的な訪問活動を通して、利用される個人の権利擁護と適切な福祉サービスの利用、日常的な金銭管理や書類等の管理をサポートし、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう支援します。</p> <p>また、関係機関とのネットワークを活用した支援体制の構築や各事業所に対する本事業の理解を進めるとともに、専門員と生活支援員を積極的に雇用し、研修等を通して、地域の権利擁護人材の育成及びサポート体制の確立を図ります。事業実施主体である宮城県社会福祉協議会との事業の整合性を図りながら、地域で生活する利用者の権利擁護に努めます。</p> <p>事業活動収入当初予算額 9,098,000 円</p>

(2) 指定障害福祉サービス事業

障害者総合支援法等の関係法令を遵守し、気仙沼市障害者通所施設条例並びに指定管理基本協定に基づき、気仙沼市及び近隣市町村に居住する障害のある利用者及び保護者の意思、人格を尊重し、心身の特性を踏まえた適切なサービスを提供するとともに、利用者が有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう適切な支援に当たります。また、職員研修を通して、職員の資質向上と法令遵守の徹底による適正な事業運営を推進します。

事業所名	内 容
気仙沼市松峰園 (就労継続支援B型 事業)	利用者が自立した社会生活を営むことができるよう、生産活動その他の活動の機会を通じて、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練、指導を適切かつ効果的に提供するように努めます。また、利用率の向上を図るため、毎月臨時開所日を設けて、安定経営に繋がるように努めます。生産活動については、目標工賃達成指導員を中心に作業内容の見直しを図り、計画的な作業を実施し受託作業及び製造事業が安定した収益を上げられるよう努め、支払工賃が増額になるよう取り組みます。 障害福祉サービス等事業収入当初予算額 71,468,000円
気仙沼市みのりの園 (生活介護事業)	利用者一人ひとりが安心して住み慣れた地域で自分らしく暮らせるよう、関係機関と連携を図り、施設での活動と経験を重ねることで自らが抱える問題の解決や生活の質の向上が図れるよう支援します。従業者は、障害者虐待や法令等を常に意識し適切に対応するとともに、利用者の各年齢層への配慮、障害特性や心身の状況に応じた適切なサービスの提供に努めます。また、地域住民の理解と協力を得ながら、様々な災害を想定した訓練を実施するなど安全対策を図ります。余暇支援を目的とした臨時開所を継続し、ニーズを聞き取りながら活動内容に工夫を重ね、利用者の満足度向上に繋げるとともに、家族のレスパイトケアに努めます。各相談支援事業所や教育機関への情報発信を継続し、新規利用者の獲得と安定経営に努めます。 障害福祉サービス等事業収入当初予算額 40,895,000円
気仙沼市マザーズホーム (児童発達支援)	障害特性や年齢に配慮し、個人ごとの発達課題を見極めながら、身近の自立に向けた身体作りや手先の器用性を高める活動に重点を置いて取り組み、集団生活での適応能力を育てるように努めます。また、並行保育先や保健師と連携を図りながら、保護者支援や兄弟支援にも心掛け、安心できる療育の場の提供に努めます。 障害福祉サービス等事業収入当初予算額 21,503,000円

<p>気仙沼市マザーズホーム (放課後等デイサービス)</p>	<p>子どもの自己選択や自己決定を促し、それを支援するプロセスを大切にすることが取り組みを行います。なお、学校休業時には、豊かな生活が送れるような活動を提供し、友達と関わりながら、葛藤を調整する力、主張する力、折り合いを付ける力が育つよう取り組みます。また、自分で生活する力が育つような活動を提供し、自立に向けた支援を行うように努めます。</p> <p>障害福祉サービス等事業収入当初予算額 20,416,000円</p>
<p>気仙沼市マザーズホーム (保育所等訪問支援事業)</p>	<p>訪問先施設(保育所・幼稚園・認定子ども園・小中学校等)や保護者との信頼関係の構築に努め、子どもの成長・発達を共に喜び合えるような支援を行います。集団生活への適応をサポートし、子ども達がより良い環境で成長出来ることを目指し、保護者・訪問先施設の職員、障害のある子どもが地域で安心して生活していけるような支援に努めます。</p> <p>障害福祉サービス等事業収入当初予算額 7,596,000円</p>
<p>気仙沼市マザーズホーム (宮城県障害児等療育支援事業)</p>	<p>地域マネジャーを配置し、障害児者の中核的な相談機関としての役割を担うよう努めます。医療機関・教育機関や他の関係機関との更なる連携を図り、相談支援、地域巡回支援、研修会の開催及び家族支援を行います。また、気仙沼市と連携し、ペアレント・プログラムにも取り組み、地域で身近な療育相談の場になるように努めます。</p> <p>障害福祉サービス等事業収入当初予算額 10,440,000円</p>
<p>松峰園相談支援センター (指定特定相談支援事業)</p>	<p>障害のある児童及び者の利用者又は保護者からの意思及び人格を尊重し、常に当該利用者の立場に立ち、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう配慮し、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じ、利用者の選択に基づいた適切なサービスを総合的に提供するよう努めます。併せて地域で必要な社会資源の開拓にも努めます。</p> <p>障害福祉サービス等事業収入当初予算額 3,006,000円</p>
<p>「つばさ」指定共同生活援助事業(介護サービス包括型)</p>	<p>利用者が地域で自立した社会生活を営むことができるよう、当該利用者の心身の状況及びその置かれている環境に応じ、共同生活住居において安心した地域生活ができるよう、相談、食事その他の日常生活の援助を適切かつ効果的に提供し、地域との関わりをより一層深めるよう努めます。また、松峰園と連携し、開所日に合わせて支援を行うなど、利用日数を増やすよう取り組むとともに事故防止及び感染対策にも努めます。</p> <p>障害福祉サービス等事業収入当初予算額 6,080,000円</p>
<p>訪問介護ステーションからくわ (居宅介護、同行援護)</p>	<p>利用者が地域において自立した日常生活または社会生活を営むことができるように、保健、医療、福祉等の関係機関との連携を密にし、常に利用者の立場にたったサービス提供に努めるとともに、利用者のご家族が豊かな生活が送れるように支援します。また研修やケースカンファレンスを確実にやり、介護知識や技術の向上を図り、事故防止対策と感染症予防に取り組みます。</p> <p>障害福祉サービス等事業収入当初予算額(居宅介護) 9,636,000円 障害福祉サービス等事業収入当初予算額(同行援護) 612,000円</p>

ヘルパーステーションもとよし (居宅介護、同行援護)	<p>住み慣れた地域で自分らしく安心して生活できるよう、利用者一人ひとりの要望を丁寧に聞き取り、真のニーズを見つけ出し、研修等に力を入れ、専門性が高いきめ細やかなサービスが提供できるよう努めます。感染症対策についても適切な衛生管理を徹底し、利用者及び家族、職員も安心して過ごせる環境を整えます。関係機関との連携を密にし、サービスへの理解が広がるよう啓発活動に取り組みます。</p> <p>障害福祉サービス等事業収入当初予算額 (居宅介護) 3,160,000 円 障害福祉サービス等事業収入当初予算額 (同行援護) 2,700,000 円</p>
-------------------------------	--

(3) 地域生活支援事業

障害者総合支援法を遵守し、気仙沼市障害者地域生活支援事業実施規則に基づき、重度の障害を持つ方への移動入浴車による入浴サービスを提供します。

事業所名	内 容
訪問入浴サービスもとよし (身障)	<p>現在利用されている方はいませんが、気仙沼市障害者支援センター等と連携を取り合い、ニーズに応じて利用者と家族の意向を尊重した適切なサービス提供を行います。</p> <p>障害福祉サービス等事業収入当初予算額 150,000 円</p>

7. 在宅福祉事業

(1) 在宅福祉事業

誰もが安心して地域で暮らせるように、地域関係者の協力、連携の下で定期的な訪問等により、高齢者世帯等の介護予防を視点に置いた支援に努め、地域包括ケアシステム構築を進めます。

事業名	内 容
移送サービス事業	家庭外へ移動困難な方や車両の確保が困難な方等に対し、リフト付ワゴン車の貸出行います。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 209,000 円
在宅ふれあい型交流事業	地域で暮らす高齢者等の孤立予防と高齢者同士又は地域ボランティア等との交流事業を定期的実施する地区社協等に対し、補助金を交付します。また、配食等を通じた地域での見守り活動を推進するため、取り組みの呼びかけや提案を行いながら、住民同士が支え合う地域づくりを推進します。 当初予算額 老人福祉活動事業の内 669,000 円
安否確認訪問サービス事業	見守りが必要な一人暮らしの高齢者世帯及び高齢者のみの世帯へ乳酸菌飲料の配達による安否確認を行います。 当初予算額 安否確認訪問サービス事業 54,000 円
介護機器貸出事業	緊急を要する要介護世帯や福祉活動を行うボランティア団体、福祉教育の場等に福祉用具を貸し出し、在宅生活の支援、地域活動及び福祉教育活動の企画や参加を促進します。 当初予算額 介護機器貸出事業 23,000 円

(2) 指定介護保険事業

介護保険に関する法令等の趣旨に従い、介護又は支援を要する高齢者等が可能な限り在宅生活が送れるよう、利用者の尊厳に基づいた適切なサービス提供に努めます。

法制度の遵守と併せて地域福祉推進という本会の使命や公益性に根ざし、さらには事業の採算性に留意するとともに、サービスの質を左右する職員の資質向上に積極的に取り組み、効果的で効率的かつ安定した適正な介護保険事業経営に努めます。

①居宅介護支援事業

事業所名	内 容
一景島在宅介護支援センター	その方の有する能力に応じ、自立した日常生活の営みを目的に常に利用者の目線に立ち、住み慣れた地域社会で安心して生活することができるよう、適正な居宅介護支援サービスの提供を図ります。団塊世代の高齢化やヤングケアラー等の地域課題が予想され、生活様式の変化が伴うことから、各関係機関、行政との更なる連絡調整に努めます。また、内部研修、外部研修を通し自己研鑽に励み、介護支援専門員一人ひとりが運営基準に則った適正な事業運営を図り、法令遵守と安定した事業運営に努めます。 介護保険事業収入当初予算額 16,412,000 円

津谷居宅介護支援事業所	<p>利用者の自立支援に向けて、介護保険事業と地域福祉事業の双方をつなぎ、医療との連携も積極的に行いながら、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、ケアマネジメント機能の充実強化に努めます。昨今、利用者本人を取り巻く環境にも支援が必要な場合も多く、虐待防止、感染症予防対策も継続しながら適切な社会資源やサービスを活用し、生活全体を支援できるよう取り組みます。</p> <p>職員一人ひとりが信頼されるサービス提供ができるよう、更なる質の向上と一連のケアマネジメントプロセスに基づいた適正な居宅サービス支援を行い法令遵守に努めます。</p> <p>介護保険事業収入当初予算額 26,578,000円</p>
-------------	---

②訪問介護事業

事業所名	内 容
訪問介護ステーションからくわ	<p>利用者やその家族の意向や意思を尊重し、望まれる在宅生活を送ることができるように、心情に寄り添ったサービス提供に努めます。また、専門的な知識や技術を高め、安全且つ迅速な対応を心掛けます。引き続き、感染防止対策を徹底し、今後も働きやすい職場環境づくりや訪問介護の魅力発信を目指し、人材確保に取り組みます。</p> <p>介護保険事業収入当初予算額 17,496,000円</p>
ヘルパーステーションもとよし	<p>住み慣れた地域や在宅で安心して生活が継続できるよう、利用者及び家族の意向を把握し、可能な限り自立した日常生活が営めるように支援します。多様なニーズに対応できる知識と介護技術のスキルアップを図るため、研修内容、マニュアル等を充実させ、効率的で効果的かつ安定したサービス提供に努めます。各関係機関との連携を強化し、利用者及び家族、職員も安心して過ごせる環境を整えます。</p> <p>介護保険事業収入当初予算額 36,552,000円</p>

③訪問入浴介護事業

事業所名	内 容
訪問入浴サービスもとよし	<p>安心して住み慣れた地域での生活が継続できるよう、利用者及び家族の意向に寄り添いながら、きめ細やかで質の高い丁寧なサービス提供に努めます。医療や他事業所との連携を密にし、様々なニーズに対応できるよう研修を活用し情報共有しながら、より良いチームケアに努めます。安心して快適に入浴していただけるよう、衛生管理を徹底し感染症予防に努めます。職員の地域活動等への積極的な参加により、サービスの周知を図るなど、意識的に事業活動を行います。</p> <p>介護保険事業収入当初予算額 17,611,000円</p>

④通所介護事業

事業所名	内 容
気仙沼市燦さん館デイサービスセンター	<p>利用者の心身の状況、生活環境、本人及び家族の希望等を尊重して作成した介護計画書に基づき、利用者が有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう努め、家族の精神的、身体的負担軽減を図ります。</p> <p>市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の基本理念に基づき、「高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし、自分らしく生きることができるよう」気仙沼・唐桑地域の特性を生かしながら地域に密着したサービス提供を行います。研修に積極的に参加し、職員1人1人の資質、技能の向上を図り質の高いサービスを提供し、利用者・家族様から選ばれる事業所を目指します。新規利用者確保が激減しているなか、唐桑地域だけではなく送迎が可能であれば気仙沼地域からの新規利用者受け入れも視野に入れながら利用者確保に努めます。</p> <p>介護保険事業収入当初予算額 68,001,000円</p>
やすらぎデイサービスセンター	<p>職員間の連携を築き、個々の質の向上を目指し、残存機能維持を主眼としたサービス活動を取り入れ、一人ひとりの支援に努めます。外部との連携を更に充実させ、選ばれる施設になる環境づくりを行い、利用者様とご家族から「安心」「信頼」のおける施設と感じていただけるよう努めます。</p> <p>様々な感染症に対する、衛生管理・対策と一人ひとりの健康状態把握に引き続き努め、在宅で暮らす利用者の方が安心して通うことのできる場を提供して参ります。職場として心身ともに健康でやりがいを持って働ける環境の整備をし、地域住民に愛され魅力のある施設を作り上げます。</p> <p>介護保険事業収入当初予算額 43,142,000円</p>
大谷デイサービスセンター	<p>家庭的な雰囲気을大事にし、利用者が持つ力を最大限に活かしながら住み慣れた地域での生活が維持できるよう、一人ひとりのニーズに合わせたサービスを提供します。また、交流会や開放日を開催する等、利用者の喜びと地域支援の機会を増やし、地域に密着した施設運営の構築と安定経営に努めます。感染症対策を継続し職員研修の充実を図り、利用者との信頼関係を深め、併せて介護者の心身の負担を軽減に努めます。</p> <p>介護保険事業収入当初予算額 38,834,000円</p>

⑤認知症対応型共同生活介護事業

事業所名	内 容
グループホーム 桑の実	<p>気仙沼市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の理念に基づき、地域社会に密着した施設運営を行います。これまで習得した認知症の専門知識や介護技術をフルに活用し、認知症を持った方でも住み慣れた地域でその人らしく生き生きとした生活が続けられるように支援を行います。</p> <p>また、燃料費、水道光熱費の高騰による物価の上昇により厳しい事業運営と</p>

	<p>なりますが、これまで以上のコスト削減に鋭意努力することで安定した経営を目指します。感染症対策についても引き続き高い意識で感染予防に努め、入居者様やご家族様が安心して利用できる施設づくりに努めます。</p> <p>介護保険事業収入当初予算額 39,800,000円</p>
--	--

⑥福祉用具貸与事業

事業所名	内 容
もとよし福祉用具貸与事業所	<p>高齢社会が続く見込みであることから、今後も福祉用具貸与事業は需要の増加が考えられます。一方で法改正などの影響により、レンタル利用者が増減する可能性あることから、外的要因による市場変化も視野に入れた事業展開を行います。また、レンタル卸業者など供給面の見直しも行っていきながら、今後の安定経営に努めます。</p> <p>介護保険事業収入当初予算額 14,279,000円</p>

⑦特定福祉用具販売事業

事業所名	内 容
もとよし福祉用具貸与事業所	<p>福祉用具貸与事業と一体的に事業を実施することにより、貸与事業だけでは補いきれない利用者ニーズを補うことで、利用者ができる限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう質の高いサービス提供に努めていきます。また、法改正による一部福祉用具の貸与と販売の選択制の導入による対応も行い安定経営に努めていきます。</p> <p>介護保険事業収入当初予算額 1,081,000円</p>

8. 気仙沼市受託事業

気仙沼市との連携を密にし、さらなる受託事業の充実強化に努めます。

事業名	内 容
配食サービス事業	<p>見守りが必要な高齢者に対して、定期的に訪問し食事を提供しながら安否確認を行います。また、定期的に利用者のモニタリング及び市担当課との話し合いを行いながら、より良いサービス提供に努めます。</p> <p>当初予算額 3,700,000円</p>
生活支援体制整備事業	<p>互助を基本とした地域の多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を推進するとともに、支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、支え合いの体制づくりの充実強化を図ります。地域支え合い推進員(本会職員)と地域支え合い協力員(地区住民)を配置し、支え合いの地域づくりを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 継続的に地域活動や社会資源の把握を行いながら、地域住民や関係機関等と地域課題の共有及び解決に向けて取り組むため、第2層圏域(地区社協圏域)ごとに協議体(住民懇談会等地域での話し合いの場)を開催します。

	<ul style="list-style-type: none"> ・住民向け研修会等の開催や広報等による発信により、地域における住民相互の支え合い活動啓発に努めます。 ・支え合い活動を支援するとともに、必要な担い手を養成し活動に参加できるよう工夫します。 ・地域団体、関係機関等とのネットワークづくりを行います。 ・高齢者の社会参加の機会拡大によるフレイル予防の促進に努めます。 ・地域支え合い協力員の確保と連携した取り組みに努めます。 <p>当初予算額 生活支援体制整備事業 31,865,000 円</p>
気仙沼市西地区高齢者相談室運営事業	<p>気仙沼西地区の災害公営住宅及び防災集団移転団地において、高齢者等の生活再建や地域社会への復帰、自立生活を支援するため、計画的な巡回訪問による安否確認や見守り・声掛けを行います。また、コミュニティ行事等への参加勧奨等の支援により、高齢者等の閉じこもりや孤立の防止に努めます。併せて、介護予防や生活困窮等への対応等必要な援助を心掛け、関係機関等に速やかにかつ的確につなぐことができるよう、地域の拠点機関としての充実強化を図ります。さらに、令和7年度での事業廃止に向けて訪問の見直し及び専門機関等との情報共有に努めます。なお、業務推進に当たっては、引き続き新型コロナウイルス感染予防を徹底し遂行します。</p> <p>当初予算額 12,884,000 円</p>
気仙沼市鹿折・唐桑地域包括支援センター	<p>唐桑地域及び鹿折地区の地域組織や関係機関との連携を強化し、高齢者が住み慣れた地域でいきいきとした生活が維持できるよう、高齢者の多様なニーズや相談に総合的に対応し、介護予防等必要なサービスを包括的・継続的に調整する地域の拠点機関として充実強化を図ります。「気仙沼市地域包括ケアシステム構築に向けたアクションプラン」に沿った取り組みを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合相談支援については、関係機関と連携して支援体制を強化し、高齢者やその家族のニーズ把握に努め必要な支援に努めます。 ・高齢者の権利擁護について、高齢者虐待への対応や成年後見制度の活用等関係機関との連携や情報共有を強化し、継続的視点を持って支援に努めます。 ・「地域ケア会議」や「唐桑地区多職種連絡会」を通じて、地域の専門職や地域の関係者と連携しながら、高齢者の課題解決に取り組みます。 ・認知症施策として、「認知症初期集中支援事業」への参加や「認知症カフェ」等を開催し、認知症の人と家族が安心して暮らし続けることのできる地域づくりを推進します。 ・関係機関と連携し地域の「フレイル予防」に継続して取り組みます。 ・生活支援体制整備事業について関係者と連携して取り組みます。 <p>当初予算額 29,878,000 円</p>
気仙沼市本吉地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢者の実態把握に努め、保健・医療・福祉・生活サービスや地域の支えあい活動などの地域における様々な活動を常に把握し、関係者・団体・

	<p>機関との連携に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に暮らす高齢者が、自分らしい尊厳ある生活を継続できるよう、一人ひとりの意思を尊重し、状況に応じ適切かつ専門性に基づく相談・支援に努めます。 ・地域住民の健康づくりや生きがいづくり、社会参加につながる介護予防の推進に積極的に取り組みます。 ・認知症の人やその家族が安心して暮らし続けることのできる地域づくりを推進するため、認知症サポーター養成講座や認知症カフェ等により正しい知識の普及啓発を行い、地域ぐるみの理解促進を図ります。 <p>当初予算額 26,735,000 円</p>
<p>生きがい活動支援通所事業</p>	<p>利用対象者のニーズ及び身体の状況に応じきめ細やかなサービスを提供することにより、社会的孤立感の解消、自立生活の助長及び要介護状態になることの予防を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いきいき福寿草（気仙沼・唐桑地域） <ul style="list-style-type: none"> 13の集いを実施するほか、各集いの参加者が心身共に明るく、健康的な生活を維持していくことができるよう、一人ひとりの生きがいづくりやフレイル予防に努めます。今年度は、2班に分けて実施してきた健康麻雀の集いを、依然と同じように一堂に会して月2回の活動出来るよう曜日の調整なども行い、実施してまいります。すべての集いを対象にした「集い交流会」や「福寿草まつり」等をとおして、新たな仲間とのつながりや、目標を持ち取り組む姿勢や達成感を大切に、興味を持ち楽しく社会参加する環境づくりに努めます。さらに、市内高齢者を対象に介護予防事業を開催し、健康に興味をお持ちの若年層の集客と高齢期の健康保持と介護予防の推進に努め、引き続き、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し取り組みます。 <p>当初予算額 15,940,000 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いきいきデイサービス（本吉地域） <ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ地域の方々との交流や、グループを超えての地域間交流も行う中で、つながりを大切に、ふれあい支え合いながら主体的に生きがいづくりと健康づくりが図れるよう、地域の要望に応じて活動を工夫し専門職に繋ぎ援助するなど、柔軟なサービス提供に努めます。 加齢による突然の不調や、日常動作の変化等には十分配慮し、安全に活動できるよう支援します。 <p>当初予算額 7,272,000 円</p>
<p>家族介護者交流事業</p>	<p>高齢者を介護している家族に対して、介護者相互の交流を図り、介護者を介護から一時的に開放し、心身のリフレッシュを図ります。</p> <p>また、交流等を通じて介護に対する課題の把握や解決に向けて支援します。</p> <p>年4回実施予定（気仙沼地域2回、本吉地域2回）</p> <p>当初予算額 701,000 円（うち交流事業分 598,000 円）</p>

家族介護者教室事業	<p>高齢者を介護している家族等に対し、家族介護教室を通じて、要介護高齢者に関する知識を学ぶことで、介護の負担軽減、状態の維持・改善を図り、在宅生活の質の向上を図ります。年2回開催予定。高齢者を介護している家族等に対し、家族介護教室を通じて、要介護高齢者に関する知識を学ぶことで、介護の負担軽減、状態の維持・改善を図り、在宅生活の質の向上を図ります。年2回開催予定。</p> <p>当初予算額 701,000 円（うち教室事業分 103,000 円）</p>
-----------	---

9. 団体事務

各種団体の事業支援とともに、自主的に活動ができるよう体制整備を支援します。

事業名	内 容
気仙沼市民生委員児童委員協議会	民生委員制度について、広く住民への理解を得られるよう周知に努めるほか、行政担当課と連携しながら事務手続きを進め、各地区民児協運営の支援など民生委員児童委員活動の円滑な推進を図ります。
本吉ブロック民生委員児童委員協議会連絡協議会	宮城県民児協が位置付けしている広域ブロックとして、南三陸町民児協との相互交流や連携を図り、圏域の課題共有とともに課題解決に向けた取り組みを推進し、ブロック内の民生委員・児童委員活動の活性化と相互交流を支援します。
気仙沼市共同募金委員会	共同募金（赤い羽根・歳末たすけあい）に対する住民の理解と協力がより一層得られるよう、様々な機会を活用した広報等の周知に努めながら、募金活動を推進するとともに、適切な配分と援護活動に努めます。
気仙沼市ボランティア連絡会	気仙沼市内のボランティア団体間の情報共有と連携を図るとともに、地域活動の一層の充実のための知識と技術を得る研修等の開催を支援し、ボランティア活動を推進します。また、役員改選の年度であることから、より細やかな支援に努めます。
気仙沼市老人クラブ連合会	高齢者の健康づくり活動等の活性化を目指し、各関係機関や団体等と連携した取り組み支援を進めます。 また、友愛活動、奉仕活動による誰もが安心して暮らせる地域の支え合いの推進や会員増強運動に取り組むとともに、女性リーダーや若手リーダーの育成と各専門部活動の充実強化への取り組みへの支援など、団体の適正な運営支援に努めます。
本吉町老人クラブ連合会	心と体の健康づくり、友愛活動、社会奉仕活動への積極的な推進と会員増強運動に取り組みながら、各関係機関や団体等と連携し、クラブ組織の基盤強化を進めます。また、実情に合わせた事業の再検討を図るとともに、女性リーダーの育成と女性部活動の充実を継続的に進め、会員が元気で生きがいある豊かな生活の実現ができるよう円滑な事業運営の支援に努めます。
本吉地区遺族会	気仙沼市遺族会との連携を密にし、英霊の顕彰と慰霊に関する事業、戦没者遺族の相互扶助、会員の各種相談及び援助に関する事業などを実施しながら、団体の適正な運営支援に努めます。
気仙沼市本吉地区小規模法人連携事業協議会	地域の様々な福祉課題の解決と地域福祉推進に向け、本吉地域内の4法人が連携・協働し地域貢献事業の一環としての協働事業の試行、事業実施に取り組みを推進します。 また、新たな加入法人の参入を積極的に呼びかけ協働のまちづくりを進めていきます。